



各位

2018年1月11日
神山健太音楽事務所

【プレスリリース】

サードアルバム”Side Effects”(邦題：水底の光)のリリースにつきまして

【要約】

- ・音楽家 神山健太のアルバム 3 作目”Side Effects(邦題 水底の光)”がイタリアレーベル”Stochastic Resonance”から発売されます(イタリア現地にて発売済み、日本でのリリースは1月31日)。
- ・本アルバムに対し、竹村真一氏(文化人類学者・NPO 法人 Earth Literacy Program 代表・京都造形芸術大学教授)、太刀川英輔氏(NOSIGNER 代表)よりレビューをいただいております。
- ・アルバムリリースに合わせ、2018年2月25日六本木サテンドールにてアルバム収録曲のライブを開催いたします。

1、概要

東京とローマを拠点に活動している音楽家 神山健太の 3 作目”Side Effects”(邦題 水底の光)が 1 作目”Signs of Rain”をリリースしたイタリアレーベル”Stochastic Resonance”から発売されます。

1、2 作目のアンビエント/エレクトロニカを踏襲しながらも、ポストクラシックの要素や本人のボーカルを新たに加え、よりドラマティックな展開を持った高貴な音楽があなたの心の”水底”を照らします。

2、アルバムの内容

収録曲

- 1 Side Effect
- 2 Cold Facts
- 3 Black Rain
- 4 Flowers
- 5 Light In The Shadows
- 6 Dark Blue
- 7 Some Day
- 8 To The North
- 9 Apartments In Tokyo

発売：Stochastic Resonance

定価：3,000 円

3、レビュー

神山健太の音楽には「作為」がない。人が作曲した音楽とは異なる、いわば生成途上の自然のような秩序のなかに投げ出され、こちらも人間世界の作為やルールから自由になれるような解放感がある。

その音空間では月が満ち欠け、時が世界を映してうつろう。このざわめきは、地球の反対側から聴こえてくる喧噪か、あるいは森の隠花植物、海のプランクトンが交わす密やかなつぶやきか。

我々の内部で、宇宙の弦がふるえる。細胞のなかの構造化された水が、ずっと忘れていたなつかしいダンスを踊る。

こんな音楽を待っていたのは私ではない。「私」よりもっと深い次元にある見えない琴線が、この音に反応している。

音楽という営みは、本来このためにあったのではなかったか？

竹村真一（文化人類学者・NPO 法人 Earth Literacy Program 代表・京都造形芸術大学教授）

山に向かうの森。深く巨大な鍾乳洞。いつの間にか、そんな場所に立っていた。大気や水が、水琴窟のように残響をこだましている。ここが夢なのか現実なのかはよくわからないが、どうやら僕は旅をしてここまでやってきたようだ。人の気配などないこの場所で、好きだったバグダッド・カフェという映画の主題歌のイントロがふっと流れたような気がして、古い記憶がすこし蘇る。この場所に来るまで、とても個人的な悩みがあったはずだった。それなのに、いつの間にか、どうでもよくなってしまった。風が抜ける。進もう。さらに北へ。神山健太の Side Effects は、そんな時空間への旅だ。彼の楽曲からは、音楽を場に響く音として捉えようとしている感覚が伝わってくる。

太刀川英輔 / NOSIGNER

4、ライブ

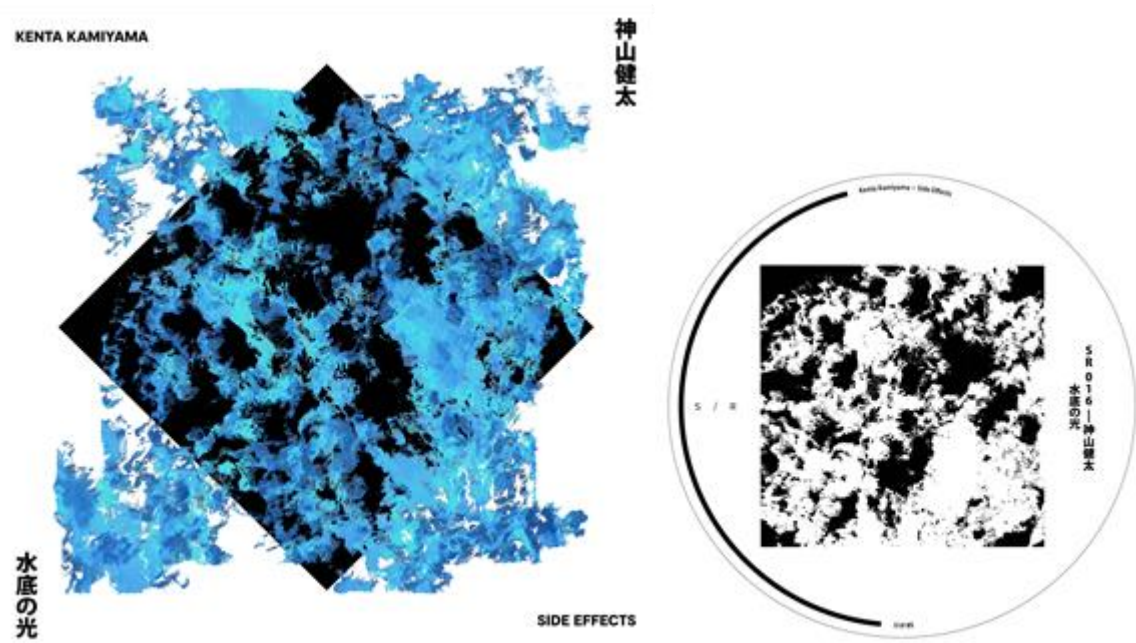
2018年2月25日に老舗ジャズクラブ”六本木サテンドール”にて同アルバムのライブを行います。

深い部分でお客様と音楽を共有できれば嬉しいです。ご来場お待ちしております。

詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.leglant.com/satindoll/>

アルバム画像



以上

■お問い合わせ先：info@kentakamiyama.com

■Kenta Kamiyama：(<http://www.kentakamiyama.com/>)

経歴

・2017年5月－メキシコレーベル Nova Fund Recordings から「触れる地球」ミュージアムで使用されたBGMを収録したアルバムをリリースし、メキシコ公演も行う。

- ・2016年6月－イタリア、ローマにて3日間公演を行う。
- ・2016年4月－世界最大のインテリアの祭典 Milano Salone にて、AGC 旭硝子ブースのサウンドデザインを手がける。
- ・2015年5月－J-Wave 主催のオーディション番組にて、Magic Greetings という楽曲がノミネートされる。
- ・2015年5月－国連防災会議 in 仙台にて「触れる地球」ブース内のBGMを手がける。
- ・2014年4月－イタリアレーベル”Stochastic Resonance”よりファーストアルバムをリリース。

Biography

神山健太は、様々な感情を映し出し、音を生み出している。
彼の音楽を聴いたとき、無意識に抱えている喜・怒・哀・楽に気づかされる。
これはアンビエント(環境音楽)の姿を借りた新しい Pops である。



リンク

公式ウェブサイト <http://www.kentakamiyama.com/>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/mamenokenta/>